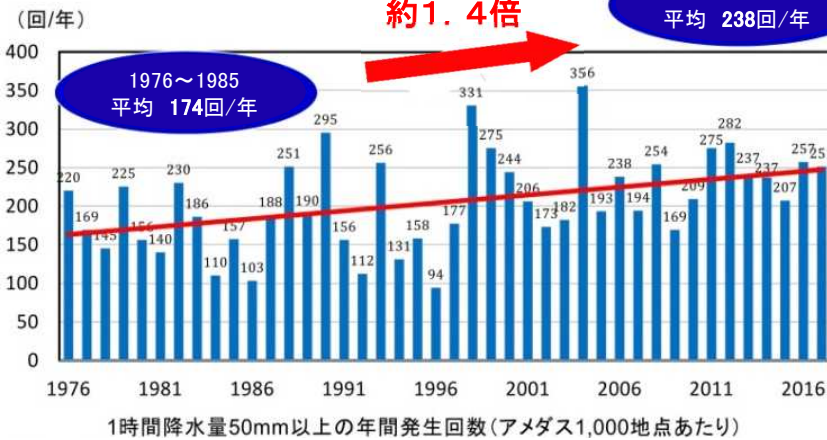


(課題1) 温暖化に伴う豪雨の頻発・激甚化
時間雨量50mmを超える短時間強雨の年間発生件数が
30年前の1.4倍に増加

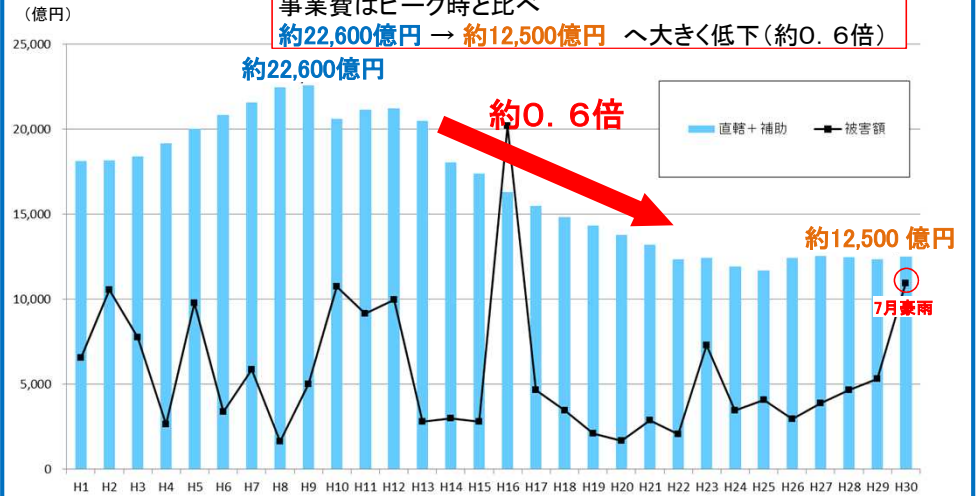
明らかに今までの雨の降り方と変わってきている ⇒ 全国の河川でリスクが増加



引用:「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」資料

(課題3) 治水事業費(当初予算)と被害額の推移
H15以降の治水事業費は大きく低下している

事業費はピーク時と比べ
約22,600億円 → 約12,500億円 へ大きく低下(約0.6倍)



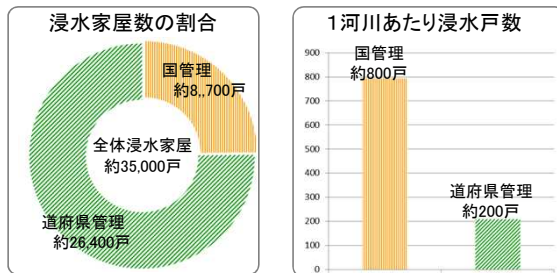
※1 被害額はH29は暫定値。H30は7月豪雨のみのため、更に大きくなる
※2 事業費は「河川データブック2018」から引用。H22以降は、交付金を加算
※3 交付金はH21予算における交付金移行分(国費2,139億円)に 交付金全体の予算伸び率を反映し推計

(課題2) 平成30年7月豪雨の被害状況
国管理の大河川と都道府県管理の中小河川のどちらも改修が必要

7月豪雨の浸水家屋数の状況

	河川数	浸水家屋数	1河川あたりの浸水家屋数
国管理	11	8,722	793
道府県管理	127	26,416	208

※全国の7月豪雨被害のうち越水、溢水、外水などによる被害を集計



7月豪雨の浸水家屋数 約35,000戸

【国管理】(大河川) 浸水家屋数 8,700戸(約25%) 1河川あたり浸水家屋 約800戸

【道府県管理】(中小河川) 浸水家屋数約26,400戸(約75%) 1河川あたり浸水家屋 約200戸

大河川と中小河川では被害状況が異なる

【国管理】(大河川)

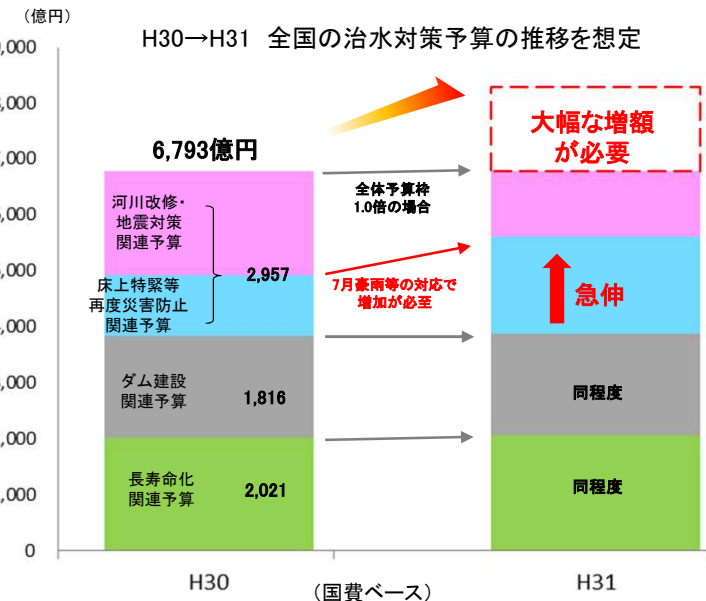
- 被害が甚大で箇所が集中
- 被災箇所の連続的な改修やダム再生等が必要

【道府県管理】(中小河川)

- 被害がボトルネック区間等に集中し、箇所が分散
- 被災箇所の局所的な改修でリスクを低減できる箇所が多数ある

(課題4) 全国では事前防災のための
予算の減額を懸念

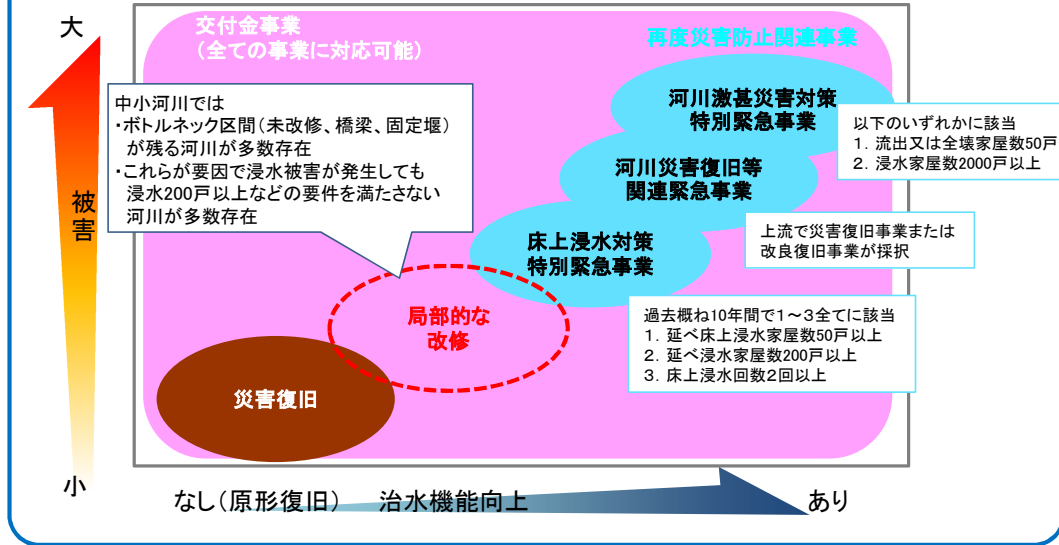
国土強靱化のためには「事前に備える予算」の大幅な増額が必要



近年の豪雨を踏まえた「中小河川の治水対策」の推進

（課題5）被災した中小河川の局所的な改修を行う補助事業がない

- ・中小河川では局所的な改修で効果を発現できる被害箇所が多い
- ・豪雨の頻発・激甚化によりボトルネック区間が残る河川のリスクが高まっている



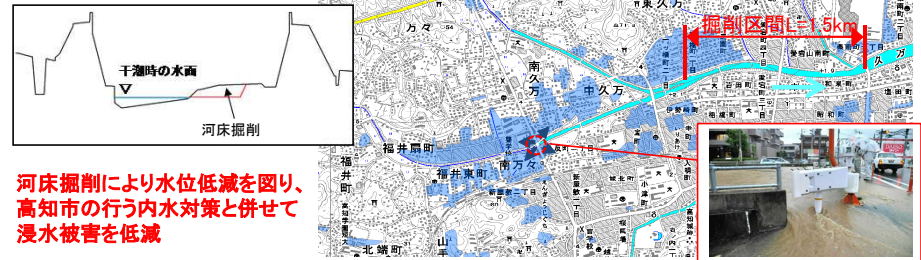
①堤防嵩上げ、河床掘削等【安芸川(安芸市)の局所的な改修】

H30年7月6日未明に洪水により浸水被害が発生
25棟が浸水し、21人が一時孤立する事態となったが、6日8時に消防隊等による救助が完了



②河床掘削【久万川(高知市)の局所的な改修】

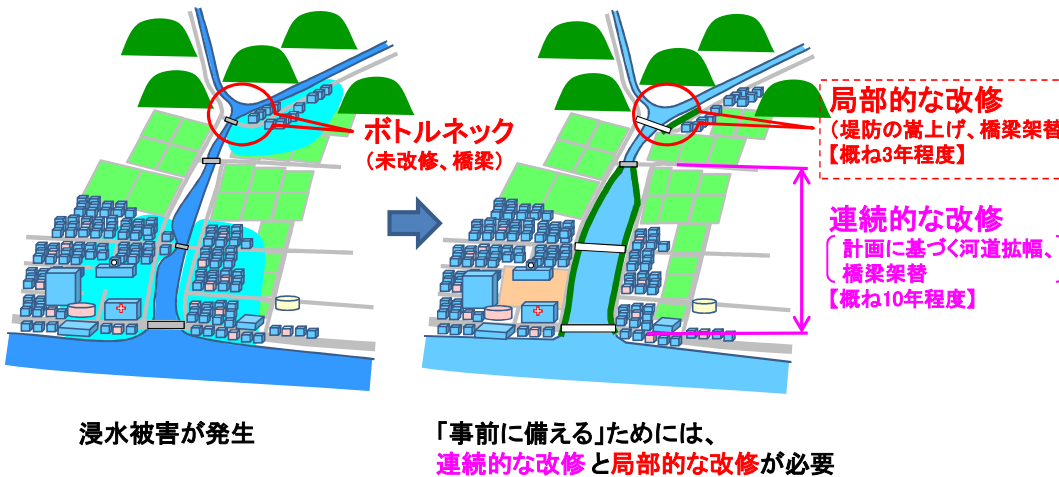
H26年8月の台風12号による豪雨で久万川および紅水川流域の低平地で甚大な浸水被害が発生。
浸水家屋387棟(一部破損2棟、床上浸水206棟)



河床掘削により水位低減を図り、
高知市の行う内水対策と併せて
浸水被害を低減

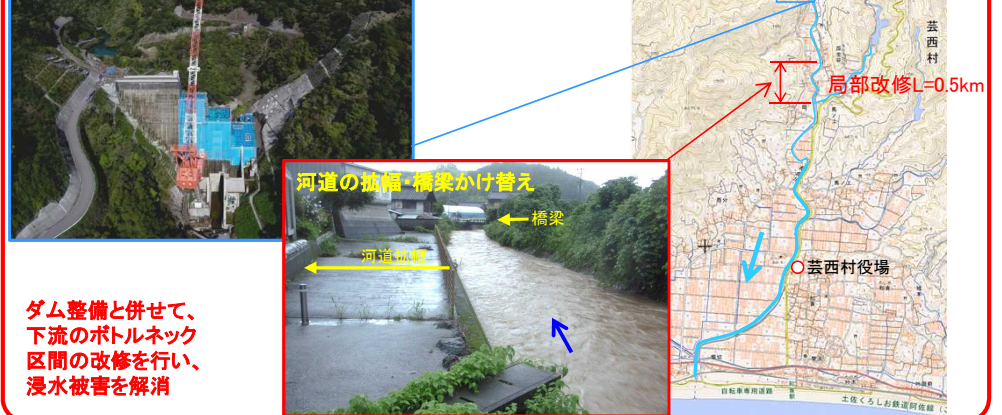
連続的な改修 人口や資産が集中した河川は、交付金などにより計画に基づいて着実な整備が必要

局所的な改修 近年浸水被害を受けた河川は、交付金予算の不足により、手が付けられない。「事前に備える」ためには、局所的な堤防の嵩上げや強化、河床掘削など、限定的でも効果が大きい対策を、被害発生河川で、一定期間に集中的に実施する必要がある



③河道拡幅、橋梁架替【和食川(芸西村)の局所的な改修】

H36年の完成を目指し建設中の和食ダム



ダム整備と併せて、
下流のボトルネック
区間の改修を行い、
浸水被害を解消

政策提言

「事前に備える」ためには、河川の連続的な改修と併せて、近年浸水被害が発生した河川の局所的な改修が必要。このためには、一定期間で集中投資を行う特別枠を設けるなど、予算の大幅な増額と、重点投資をお願いする。

既存予算では、近年浸水被害を受けた河川の対策が進まない

(参考資料)

(課題) 県内では、頻発する豪雨等による被害が蓄積され、更に大きな被害を招く危険性をはらんでいる(平成20年～平成30年の浸水箇所と整備箇所)



近年浸水被害を受けた河川

(対策中)

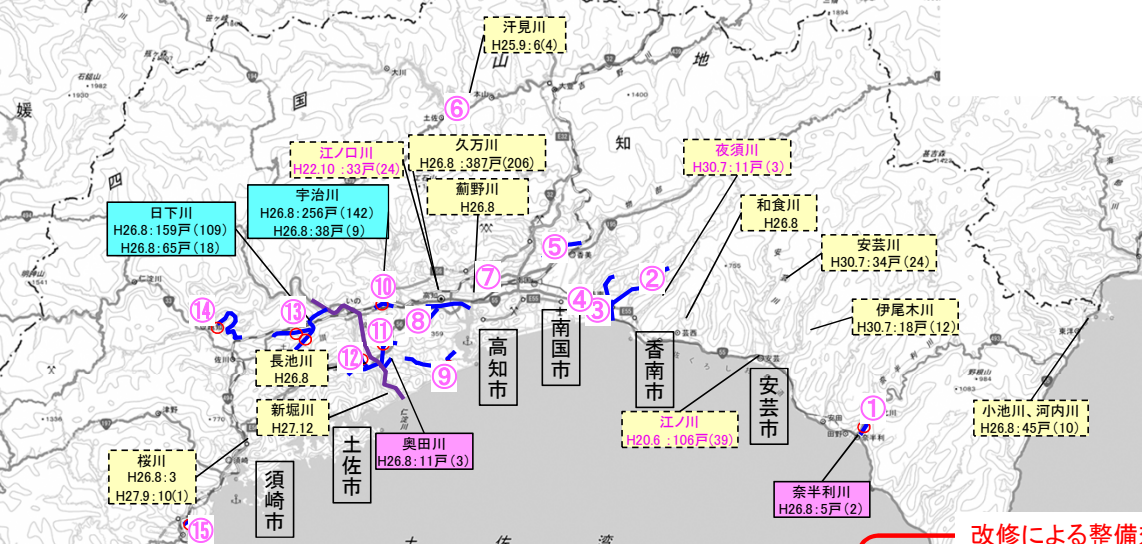
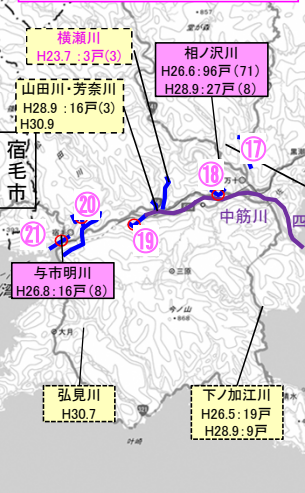
- 川 床上事業
- 川 交付金事業

(未対策)

- 川 局所的な改修
- 川 連続的な改修

浸水戸数○戸(△)
△うち床上浸水

①～⑳ 交付金整備河川



○連続的な河川改修

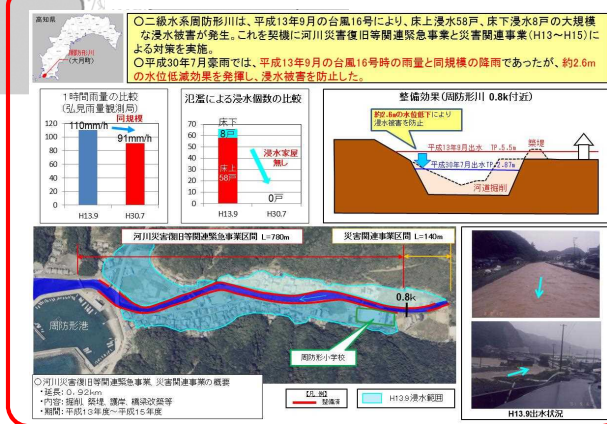
- ・交付金事業により、人口、資産が集中した重要な21河川を実施。
- ・早期完成に向け、継続した予算確保が必要。

一定期間で集中投資を行う特別枠が必要

○局所的な河川改修

- ・局所的な堤防の嵩上げや強化、河床掘削など、限定的でも効果が大きい対策を、短期間で集中的に実施することが重要。

改修による整備効果(平成30年7月豪雨)



近年被害発生箇所の局所的な要対策箇所の具体例(15河川)

・高知県で近年浸水被害が発生し、ボトルネック区間等を残す河川

・事業費約50億円の計画的な投資により、ボトルネック区間を改修し、浸水被害を低減が可能になる

対策内容	河川名	市町村名	出水被害	
橋梁阻害	河道拡幅 橋梁架替	長池川	土佐市	H10年高知豪雨、H16年台風23号、H17年台風14号 H26年台風12号及び11号
橋梁阻害	河道拡幅 橋梁架替	新堀川	土佐市	H27年12月豪雨
堰阻害	河道拡幅 堰改修	桜川	須崎市	H26年台風12号及び11号: 3戸 H27年9月豪雨: 10戸(床上1戸)
合流部	堤防整備	岩田川	四万十市	H28年台風16号及び豪雨: 55戸(床上19戸)
合流部	堤防嵩上げ	山田川	宿毛市	H28年台風16号及び豪雨: 16戸(床上3戸) H30年9月豪雨
	河道拡幅	弘見川	大月町	H30年7月豪雨
	河道拡幅	下ノ加江川	土佐清水市	H26年梅雨前線: 19戸 H28年台風16号: 9戸

対策内容	河川名	市町村名	出水被害
堤防嵩上げ	小池川	東洋町	H26年台風12号及び11号: 20戸(床上7戸)
堤防嵩上げ	河内川	東洋町	H26年台風12号及び11号: 25戸(床上3戸)
堤防嵩上げ 河床掘削	安芸川	安芸市	H30年7月豪雨: 34戸(床上24戸)
河床掘削	伊尾木川	安芸市	H30年7月豪雨: 18戸(床上12戸)
河道拡幅 橋梁架替	和食川	芸西村	H元年8月豪雨: 67戸(床上26戸) H16年台風23号: 16戸、H26年台風12号及び11号
堤防嵩上げ	汗見川	本山町	H25年台風17号: 6戸(床上4戸)
河床掘削	久万川	高知市	H26年台風12号及び11号: 387戸(床上206戸)
河道拡幅 橋梁架替	薊野川	高知市	H10年高知豪雨: 40戸(床上8戸) H26年台風12号及び11号